

雪舟

益田を
雪舟の
聖地に。

創刊号
Vol. 1
2022 AUTUMN
雪舟の庭を愛でる会

雪舟さんは 二度益田に。

今 市で生まれた雪舟さん。臨済宗のお坊さんとして、水墨画と作庭の修行を極めた日本を代表する芸術家の一人です。

雪舟さんの生涯で一大転機となったのは、山口の大内氏が派遣した遣明船に乗り48歳で水墨画の本場中国に3年間留学したことです。日本とは異なる雄大な自

然を目の当たりにし、画家たちとも交流して多くの技法を学びました。帰国後、九州から北陸、東海まで広く修行の旅を続けていた雪舟さんは、少なくとも三度益田を訪問しています。最初は60歳の時、15代益田兼堯に招かれて彼の肖像画「益田兼堯像(A)」を描きました。兼堯の堂々たる体とその人柄までも写し出す生き生きとした顔の表現が見どころです。

また、この頃、雪舟さんは医光寺(B)(元崇観寺)と萬福寺(C)に名園を築きました。医光寺庭園は池の中央の亀石と西側の鶴石が向かい合い山腹には枯滝を組み、一方、萬福寺庭園は築山の中央に立つ鋭い須弥山石とそれを取り囲む様に渦巻き状に展開する石組で構成されています。四季折々に時間を忘れ雪舟さんの世界をじっくり味わうことができます。

二度目は64歳の時、17代益田宗兼の家督相続祝いに「四季花鳥図屏風(D)」を描きました。左右に松と梅の巨木を配し、鶴や白鷺、椿や芙蓉など多くの花鳥をちりばめた豪華で力強い屏風です。

最後は80歳を過ぎてからの訪問です。山口から現在の大喜庵(E)の益田東光寺に來て晩年を過ごしていた雪舟さんは、83歳(一説に87歳)で亡くなったと伝えられています。その後、墓が建てられ雪舟廟として現在まで語り継がれています。

雪舟さんが三度も益田を訪問したのは、益田の地が平和であり、益田氏との好ましい関係があったからに他なりません。



A 益田兼堯像

肖像画の最高傑作。まるで本人が目前にいるよう。でもちょっと右手が小さくない!? 国指定重要文化財。



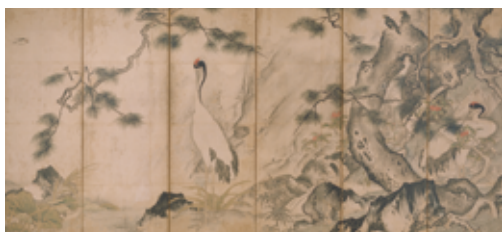
B 医光寺

鶴亀の吉祥(おめでたい)庭。灰塚がある。雪舟さんは崇観寺(医光寺の前身)の5代住職。国指定史跡及び名勝。



C 萬福寺

仏教の世界を表した石庭。ゆったりと座って眺めると時を忘れる。国指定史跡及び名勝。



E 大喜庵

日本海を眺める景色が留学した中国に似ている事から、終焉の地と決め生涯を終える。雪舟の壺、硯や茶の水に使った靈巖泉(れいがんせん)がある。

D 四季花鳥図屏風(京都国立博物館蔵)花鳥図の中で最も優れた作品。四季の移ろいを雄大に描いている。



▲萬福寺の雪舟等楊(とうよう)禪師胸像

品格があり、豊かな感性と洗練されたセンスの持主。情に厚く自信家。(人相診断アプリより)

※A、B、C、Eは日本遺産構成文化財。A、Dは雪舟の郷記念館で常設展示(複製)。Aは通常年2回原本展示。雪舟の郷記念館電話0856(24)0500

益田を『雪舟の聖地』に。

「雪舟」

「舟」についてもっと知りたい
と思います。

益田市は画聖雪舟の終焉の地と言われています。生誕の地備中赤浜に在る石碑にも幼少を過ごした宝福寺の石碑にも記されています。そして雪舟の終の遺構が残る東光寺（現大喜庵）にある墓や医光寺境内にある灰塚などはその証と言えます。墓や灰塚に残る法名（戒名）を見ると雪舟と益田市との関係が判ります。

国指定史跡及び名勝の雪舟庭園は全国に3庭、2庭が益田市に現存、これをもっと発信していきたいと思えます。

さらに雪舟の描いた国指定重要文化財の「益田兼堯像」が益田市立雪舟の郷記

「雪舟の庭を愛でる会」趣意書

私たちは2017年（平成29年）益田市に在る国指定史跡及び名勝の医光寺庭園、萬福寺庭園を起点として、明治末期から昭和初期に活動された「雪舟終焉地保存会」を再興させる趣旨で本会を発足させた。

画聖として仰がれる雪舟は、絵画において国内最多6点の国指定を受け、益田市立雪舟の郷記念館所蔵「益田兼堯像」の肖像画は国指定重要文化財である。また作庭に関しても国指定史跡及び名勝庭園が3庭ある。そのうちの2庭が益田市に在るといふ事実をもっと知り広めよう（他の1庭は山口市の常栄寺庭園）。

益田市は「雪舟の聖地」とするに足りる多くの遺跡が現存している。なかでも雪舟の終の栖の遺構が残る東光寺（現大喜庵）や医光寺境内にある灰塚などは史実の確認ができる大切なものである。これらの事実にもっと市民が理解を深め、その魅力を持って「雪舟の聖地」として全国に発信し由緒ある雪舟のまちを後世に繋いでいきたい。

◎参考文献Ⅱ雪舟の郷記念館「すぐろく」雪舟なんでも探検 ◎写真提供Ⅱ雪舟の郷記念館／益田市教育委員会／京都国立博物館（無断複製禁止）※題字は国宝「秋冬山水図」のサインⅡ落款（らんかん）をトレース

念館に収蔵され、年に2回公開されています。これは中世の豪族武将で当地で隆盛を保った益田氏の直系益田家より「ふるさと創生資金1億円」で購入した肖像画です。

近頃、雪舟の若き拙宗時代の数多ある絵の真贋を判断する対象にこの肖像画の筆使いが基になっていいることを知るとこの絵の重要性は今後ますます高まってくると思われまます。

これから中世の歴史が脚光を浴びる時代になると言われ、益田市にとって「雪舟」は重要な位置にあると思われまます。中世の画聖雪舟を調べると益田市に繋がる（リンクする）ように、益田を『雪舟の聖地』にしたい考え提案します。

「雪舟」を知れば知る程、益田市との深い関係が判ります。市民の皆さんももっと「雪舟」を知りたいと思ひ、このリーフレットを創り連載していきます。

そうじ体験イベント

毎月医光寺（第2土曜日）、萬福寺（第4土曜日）10時から11時30分まで落葉や雑草の除去を実施します。雪舟庭園のそうじは私たちの原点です。



益田の中の雪舟さん

益田市内の雪舟名がつく物を探索、調査、聞き取りしました

【史跡・建物など】雪舟庭園（医光寺、萬福寺）／雪舟の郷記念館①／雪舟廟大喜庵／雪舟硯水靈巖泉／雪舟の墓②／雪舟灰塚③

【像・絵画】高村光雲作雪舟禪師木像（雪舟の郷）④／木像（医光寺）／銅像（萬福寺、医光寺、雪舟の郷）／天開図画楼図（雪舟の郷）⑤／350回忌に作成、作者不明（医光寺）⑥／村上爽峰色紙（萬福寺、雪舟の郷）⑦

【道路・公園など】雪舟橋／雪舟新橋／雪舟道路／雪舟ふれあい通り／雪舟踏切／雪舟東公園／雪舟西公園／雪舟小径／バス停（益田地区）

【団体・会社など】雪舟顕彰会／雪舟橋自治会／雪舟焼窯元／雪舟園／雪舟保育所

【音頭・校歌など】徳川夢声作益田音頭／校歌（益田中、益田東中、益田高、益田東高）／神楽（益田越中守）

【行事】雪舟さんまつり（5月）／雪舟忌（10月）

【図書】益田市立図書館雪舟関連図書・資料189点、児童書・漫画19点

【樹木】雪舟桜（医光寺）／雪舟椿（大喜庵）

【その他】雪舟の里（焼酎）／画聖（日本酒）／雪舟の庭（四見三葛）

【昔あった物】雪舟巻／雪舟饅頭／雪舟旅館



情報募集!

雪舟さんは描いた絵をすぐ人にあげるくせがあり、もしかしたらあなたの家にも残っているかも……などの情報を◎封書◎メール◎ツイッターでどんどんお寄せください。お待ちしております！次号は「ちゃんと知ってる？雪舟庭園」です！12月頃発行予定。お楽しみに！

発行日◎2022年10月20日 発行◎雪舟の庭を愛でる会 篠原 亨（会長）

住所◎〒699-5125 益田市白岩町イ133番地 メール◎makoto-shinohara@van-archi.com

ツイッターID: @masuda_sesshu

